

京都検定 公開テーマよもやま話

第19回

過去問に挑戦!

京都検定講演会講師による「よもやま話」。
京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第24回京都検定3級公開テーマ「京の涼さがし」

京の涼は「スポット&モノ」だけじゃない?!



塩原 直美
京都観光
アドバイザー

第24回京都検定3級のテーマは

「京の涼さがし」。盆地特有の蒸し暑い夏、クーラーのない時代に古の人々は知恵で「涼」を取っていました。その工夫は部屋しむらの設え、間取り、扇子、団扇、川床、打ち水等、我々の生活に今なお伝承されています。真夏に町家を見学した際、風が坪庭から表の玄関まで流れ、その空気の移動だけで、「こんなにも心地よい涼しさを感じられるのか!」と驚愕したことを思い出します。そんな涼を探してみしましょう。

私のおすすめは、「音」による

涼です。風鈴や水琴窟、滝の音も良いですね。宇治田原町にある正寿院は境内を風鈴が埋め尽くすため「風鈴寺」とも呼ばれ、その澄んだ音で涼やかになれます。水琴窟は圓光寺、宝泉院、永観堂、退蔵院等、京都市内にもたくさんあり、自ら柄杓で水を流し、その琴のような音に涼を感じ取ります。滝は府域に名所がいくつかありますが、市内の身近なスポットでは清水寺の「音羽の滝」、左

それから忘れてはならないのが、川床料理に代表される「食」でしょう。魚そうめん、かき氷に冷やし飴、水羊羹等の冷菓、キーンと冷やした伏見の冷酒もおいしいですね。あと最近、京都でも増えている地ビールも。そうそう、明治初期には先ほどの清水寺の「音羽の滝」の水を使った地ビールが作られていたこともありました。

こうして挙げてみると暑い夏の京都にも、楽しむ手段はいろいろとあるものです。旅人に「京都は夏、暑いから…」と敬遠されがちですが、私が盛夏に実践している京都の究極の「涼」は…夜明けと同時に活動を開始する「朝観光」。日中よりも涼しいだけでなく、朝焼けも絶景です。

京区大原の「音無の滝」が思い浮かびます。私のお気に入り、愛宕山の麓にある「空也の滝」。崖から流れ落ちる水の落差が約15mもあってダイナミックな滝です。涼しいだけでなく、マイナスイオンを身体で感じて気分も爽快!!

※「京都・観光文化検定試験®」、「京都検定®」およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。



愛宕山の麓にある空也の滝



▲京都検定の
詳細はこちら

または

京都検定

〒600-8285 京都府京都市下区
上京区東山 1-1-1
〒600-8285 京都府京都市下区

Q3

第20回3級より

7月の土用の丑の日の前後、池に足を浸して心身を清め、ロウソクを献灯し無病息災を祈願する御手洗祭が日中から夜まで行われる神社はどこか。
(ア)八坂神社 (イ)下鴨神社
(ウ)松尾大社 (エ)上賀茂神社

Q2

第20回3級より

7月1・15日の夜に行われる千本ゑんま堂の年中行事で、梶の葉祈願や、涼しげな風鈴の音色で夕涼みを楽しめる催しはどれか。
(ア)牛祭 (イ)花まつり
(ウ)風祭り (エ)火祭

Q1

第18回3級より

鴨川の流れと川風に涼みながら料理を楽しめる京の風物詩「鴨川納涼床」の店舗は、鴨川畔の二条からどこまでにあるか。
(ア)三条 (イ)仏光寺
(ウ)五条 (エ)七条